

2017年10月24日

横浜ゴム、最新の軽量化設計技術を採用した ライトウェイト低燃費タイヤ「BluEarth-air EF21」を開発

横浜ゴム（株）は、当社の創立100周年を記念し、最新の軽量化設計による環境貢献を目指した先進技術コンセプトタイヤ「BluEarth-air EF21（ブルーアース・エアー・イーエフ・ニーイチ）」を開発した。開発サイズは205/55R16 91Vの1サイズ。国内で年内に限定発売を予定している。

「BluEarth-air EF21」は、燃費向上を目的とした車両全体の軽量化への寄与、使用材料の省資源化による環境貢献を目指し、ヨコハマの最新の軽量設計技術を採用。軽量で薄くかつ高剛性な構造を実現し、質量において約25%の軽量化を達成した※。また、新たに開発した専用コンパウンドと最先端のゴム混合技術「A.R.T. Mixing」を採用。国内タイヤラベリング制度において転がり抵抗性能「AAA」、ウェットグリップ性能「a」の最高グレードを獲得しており、優れた低燃費性能とウェット性能を発揮する。

※：「ADVAN dB V551」との比較。当社の一般的な質量のタイヤとして設定。

なお、同商品は10月25日～11月5日（一般公開は10月28日～）に東京ビッグサイトで開催される「第45回東京モーターショー2017」の横浜ゴムブースにおいて世界初公開される。

「BluEarth」シリーズは「環境性能のさらなる向上+人に、社会にやさしい」をテーマとした横浜ゴムのグローバルタイヤブランド。低燃費タイヤ最高グレードを提供するフラッグシップタイヤ「BluEarth-1 EF20」、ハイパフォーマンス低燃費タイヤ「BluEarth-A」、ミニバン、クロスオーバーSUV用低燃費タイヤ「BluEarth RV-02」、ハイト系コンパクトカーおよび軽自動車向けタイヤ「BluEarth RV-02CK」、低燃費スタンダードタイヤ「BluEarth AE-01F」などを展開している。



このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：鈴木
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570